

(様式4)

平成27年度 日立市教育研究会先進校等調査派遣研修報告書

日立市立坂本中学校 教諭 小室 好美

- 1 派遣期日 平成27年11月17日(火)
- 2 研修先 学校名 宇都宮大学教育学部附属中学校
所在地 栃木県宇都宮市松原1丁目7番38号
<http://ks001.kj.utsunomiya-u.ac.jp/fsight/>

3 研修内容

宇都宮大学教育学部附属中学校英語科の授業参観

(1) 研修校選定の理由

日立市教育研究会英語科教育研究部夏季研修会において、宇都宮大学教育学部附属中学校の田村先生に、「コミュニケーションの中で文法を学ぶ授業の工夫」～Try it, Fall it, Try it again, Fall it better～というテーマで講話をしていただいた。その時の講話で、中学1年の生徒の即興の英会話の様子と同じ生徒が3年生になった時の即興で英会話をする映像を見せていただき、私もこんな生徒を育てたいと思った。さらに、夏の研修で講話いただいた以外の田村先生の授業を参観させていただき、教科書をどのように教えているのかを知りたいと思った。そこで、田村先生の普段の授業を参観し、どのような授業を実践すれば、映像で見た生徒を育成できるのかや教科書での指導方法を研修し、自分の授業改善に役立てたいと思った。

(2) 授業参観の内容

① 2年4組 田村先生の授業参観 (Program 8)

- ・英語の歌を歌う。“Perfect”
- ・NHK基礎英語を聞いて、内容理解の確認をする。
- ・本文の内容に関する英問答をする。
- ・教科書をCDで聴く。
- ・教科書を読む。(教師のあとに→CDのあとに→自分で→CDと一緒に→教科書を閉じて)
- ・内容に関する英問答をする。
- ・ピクチャーカードで主要人物の紹介。
- ・キーワードについて辞書で調べる。
- ・本文の内容が理解できたかの英問答をする。(自分で答えを考える→隣人と答えの確認→CDを聴いて→答えの発表)
- ・内容理解のTFテスト。

② 1年4組 星野先生の授業参観 (My Project 2)

- ・英語の歌を歌う。“Getting back together”
- ・好きなテレビ番組は？子どもたちに人気のあるテレビ番組は？(ペアワーク→教師と生徒で)
- ・自分のことについて言おう。can, be good at を使って2文の英語で。
- ・有名人の写真を見て、can を使って言おう。
- ・人物を紹介しよう。(ペアで→自分で)

③ 2年2組 田村先生の授業参観 (Program 8)

- ・英語の歌を歌う。“Perfect”
- ・NHK基礎英語を聞いて、内容理解の確認をする。
- ・本文の導入として、内容に関する英問答をする。
- ・内容理解の確認をする。
- ・CDを2回聴く。
- ・Q & Aの答え合わせ。
- ・ピクチャーカードを使いながら内容を確認する。
- ・本文の内容に関するTFテスト。

④ 3年4組 高久先生の授業参観 (Program 7)

- ・英語の歌を歌う。“Bad day”
- ・ニュースについて話そう。(ペアワーク→教師と生徒で)
- ・関係代名詞を使って何のおにぎりが好きか話そう。
- ・本文の内容理解をする。
- ・ピクチャーカードを見せながら教師が教科書を読む。
- ・本文の内容に関する Q & A。
- ・新出単語を CD で学習する。
- ・教科書を読む。

⑤ 田村先生との協議

- ・ authentic なインプットを確保するための帯活動 (多聴)
- ・教科書の内容が他人事とならないための動機づけ
- ・必然性や必要感を感じる英会話のトピック選定
- ・ Small step での教科書の内容理解
- ・英語科としてどの学年も共通した指導に取り組み
- ・目標は、短期ではなく、長期にそして形成的目標に
- ・語彙を増やすための辞書指導
- ・教科書読みでの発音指導
- ・教師と生徒、生徒同士の英語でのやり取りを多く取り入れた授業

4 感想

今回の研修で、3つのことを学ぶことができた。

1つは、教科書の内容理解の指導である。導入で生徒が「私には関係のない話を学ぶ。」と思わないようにするために、教科書の内容が自分に関連していると思わせる英問答をしていた点だ。そして、生徒が内容を理解するために、教師と生徒との英問答でのやり取りを実際に参観することができたことである。できるだけ英語を使用しての授業改善に向けて、自分がどのように英語の授業を進めたら良いのかを学んだ。

2つめは、どの学年も授業の進め方に共通するものがあったことである。担当教師が変わっても生徒が混乱せずに安心して取り組めるよう、英語科で話し合い、英語の歌や英問答、必然性や必要性を感じる英会話のトピック選定にどの学年でも取り組んでいた。自分の学校に足りない物を学んだ。

3つめは、どんな生徒を育成したいかを、長期的にみて授業を進めるということである。生徒が卒業する時に、どんな英語の力を育てたいのか。そのために、日々の授業をどう進めるかという視点で英語の指導に取り組んでいる授業を参観した。英問答での教科書の内容理解や教科書読みでの発音指導、必要感に迫られた英会話、語彙を増やすための辞書指導、多聴のための帯活動、全てが生徒の卒業時にどんな英語の力をつけさせたいかを念頭に、指導計画が作られていた。

11月の授業参観で学んだ後に、教科書の内容理解の時に自己関連性をもたせる工夫や、教科書読みでの発音指導を授業の中で実施している。今後は、今回の研修で学んだ、教科書の内容理解を英問答で進める指導法を、本学校の生徒の実態に合わせて、自分の授業を改善していきたい。